

①事例の概要

この事例の登場人物、施設名等の名称はすべて仮称です。

小森 あおい さん

記入者：相談支援センターこすもす 相談支援専門員 最上ひかる

事例タイトル	母親との二人暮らしが困難になり、グループホームと生活介護を利用しながら地域で生活することを希望している事例
相談経過の要約	あおいさんは、Z市で出生。8歳上の兄がいる。幼少時は、言葉や歩行が少し遅かった。 小学校1・2年生の時は普通学級に通っていたが、学習への理解の遅れやこだわりから次の行動になかなか移れない等の状況が見られた。小学校3年生からは、特別支援学級に移った。小学校6年生の秋に、他の生徒との学力の差、学習環境に馴染めないこと等から、担任からは、中学は養護学校への進学を勧められた。その際、児童相談所で療育の判定を受け、軽度の知的障害、療育手帳Bを取得。 中学はZ市内にある養護学校中学部に進学。中学部と高等部では、手芸班に所属し、楽しく過ごした。手芸班では教師があおいさんのできるところは積極的にほめて、苦手なところは根気よく教えてくれた。手先が器用で縫物は手縫いの他、ミシンを使い、小物を丁寧に作っていた。 あおいさんは、養護学校の高等部を卒業し、Z市の作業所を利用。作業所では、得意の手芸や農作業、外注の箱折り作業等に取り組んでいた。同じ養護学校の卒業生が多く利用していたため、友人もでき、休むことなく利用していた。30歳になった時、作業所の作業内容が変わったこと、仲のよい友人と大好きな職員が作業所を辞めたこと等から作業所に行くことができなくなり、作業所を辞めた。家族は別の障がい福祉サービス事業所の利用を勧めたが、「どこにも行きたくない」「誰とも会いたくない」と気分の良い時以外は外に出たがらなくなった。 家では、母があおいさんの身のまわりのことを全てしていたため、一人ではできることは少ない。 母は60歳で退職後、近所のスーパーで5年程、パートの仕事をしていた。72歳で認知症が判明し、介護保険の訪問介護、短期入所を利用している。 あおいさんの兄はあおいさんと認知症の母の二人での暮らしは難しいと考え、地域包括支援センターと市役所に「施設に入れてもらえないか」と相談した。あおいさんは母の状態から一緒に暮らしていくのは難しいと察するようになり、兄に「私はどうなるの?」「一人ではられない」と不安を話した。あおいさんと兄は、相談支援センターこすもすに相談をし、気分が良い時に事業所の見学と体験等も行う中「これからどうなるか心配」「他の人と仲良くなれるのかな」「掃除や洗濯はあまりしたことがない」「自分のことは自分でできるようにになりたい」「どこかに通わなきゃ」と話す。あおいさんは、グループホームに入居すること、生活介護事業所に通所することを希望した。

年齢・性別 家族構成・家族状況	あおいさん：40歳、女性 Z市で生まれる。 家族構成 父：10年前に65歳で亡くなる。 母：74歳。認知症。要介護2。訪問介護、短期入所を利用しながら、あおいさんと自宅で生活している。自宅での生活が難しくなってきたため、認知症対応型のグループホームに入居予定。 兄：48歳、会社員。Z市の隣のY市に居住。妻、子供2人（長男は他県、長女は同居）。週末、あおいさんと母の世話のため、実家に行っている。あおいさんとの関係は良い。 兄の妻：48歳、看護師。週末、あおいさんと義母の世話のため、夫と夫の実家に行っている。あおいさんに福祉サービスを利用してほしいと思っている。あおいさんとの関係は良い。
手帳・区分	療育手帳B、知的障害、障害支援区分3
生活歴及び病歴	【生活歴】 Z市で生まれ育つ。初語や歩行は少し遅かったが、特に保健師からの指摘事項はなかった。小学校3年生から特別支援学級に移り、中高は養護学校に通学。好きなこと（パズル、縫物）は集中して取り組むことができるが、こだわり出すと次に進むまで時間がかかる。中学部と高等部では手芸班に所属し、地域のバザーなどに参加。友達は数人いたが、自分から積極的に作るタイプではなかった。どちらかというと受け身的な性格であり、話かけられるのを待つ方だった。困りごとがあっても相談できない。面倒見の良い人がいると長続きする。 【病歴】 養護学校中学部進学時に、児童相談所で判定を受け療育手帳を取得。診断名は知的障害。作業所を辞めてから肥満気味になり、38歳で糖尿病の診断を受け、薬を飲んでいるが、忘れることがある。
経済状況	障害基礎年金2級、補足給付：家賃10,000円（申請中）
相談に至る経緯	認知症の母との二人暮らしが難しくなり、兄が地域包括支援センターと市役所「施設に入所させたい」と市役所に相談。
望んでいる暮らし	あおいさんの希望は、「自分のことは自分でできるようになりたい」「困った時に相談したい」「お母さんやお兄ちゃんに会いたい」「お兄ちゃんには迷惑をかけたくない」「一緒に遊ぶ友達が欲しい」「Snow Manの話ができる友達ができたら最高」「Snow Manに会いたい」と話してくれた。心配（不安）なことは「他の人と仲良くなれるか」「掃除や洗濯はあまりしたことがない」「お金の使い方が分からない」と話してくれた。 将来のことは「まだ分からない」「今はグループホームとアクションでやっていきたい」と話している。
本人の状況と最近の様子	あおいさんは、こちらから話かけると小さな声でボソボソと返答するが、話するのは好きな様子。あおいさんからの質問はほとんどない。相手の話を「は

	い、はい」と返事をするため、分かっているように見えるが、理解はできない様子。大好きなアイドルの話は積極的に話をする。 あおいさんの見た目は年齢相応。肥満気味なため、自分でも体型を気にしている。
その他	